
NTTテレパーク堂島

英語名：NTT Telepark Dojima
所在地：大阪市北区
堂島 3-1-21、59 ほか
建設年：堂島第1ビル 1960年 -
堂島第2ビル 1986年 -
第3ビル 1968年 -
NTT DATA 堂島ビル 1974年 -



NTTテレパーク堂島全景（NTT DATA 堂島ビル竣工時点）
※出展：NTT ファシリティーズ所蔵

NTTグループのビルが集積する「NTTテレパーク堂島」の街区は、大阪の近代史、また近現代建築史にとって特別な場所である。大阪の近代化の立役者である五代友厚がいくつかの重要施設を設けたのち、1927（昭和2）年に大阪中央電信局と大阪中央電話局がこの地に建てられた。設計は逓信省の同期の建築家、山田守と森泰治。特に山田は日本のモダニズムを代表する建築家の一人で、アーチを連続させた斬新なデザインが話題となった。戦後になって電電公社へと組織を変え、少しずつ敷地を広げて街区全体が電電エリアとなっていく。そんななか1974（昭和49）年、電電公社としては初めての超高層ビル、現在のNTT DATA 堂島ビルが完成する。プロフィリットガラスという特殊なガラスで全面を覆った高さ120mのビルは、現在もその輝きを失っていない。（高岡伸一）